

合志市総合政策審議会 【平成 27 年度 第 6 回 会議録】

(1) 会議の名称、開催日時及び開催場所

- ・平成 27 年度 第 6 回合志市総合政策審議会
- ・平成 28 年 3 月 11 日（金）午後 2 時 00 分～午後 4 時 30 分
- ・場所 合志市総合センター ヴィーブル 2 階 中央公民館研修室

(2) 会議の議題

- (1) ふるさと創生基金活用事業に係る助成申請に伴う諮問
- (2) 施策評価における平成 28 年度取り組み方針について
- (3) 第 3 期「合志市行政改革大綱」及び「合志市集中改革プラン」（案）について
- (4) 平成 28 年度スケジュール（案）について

(3) 会議の公開、非公開又は一部非公開の別

- ・公開

(4) 出席委員及び欠席委員の氏名

[出席委員] 寺本 秀信委員、荒川 和典委員、川端 正春委員、永尾 テル子委員、大藪 真裕美委員、田端 眞知子委員、小林 文子委員、出口 増穂会長、矢野 辰善委員、矢野 信司朗委員、松浦 隆委員、竹田 節子委員、東 隆幸委員、緒方 量委員、田代 宏男委員、峯 隆吉委員、緒方 幸代委員（17 名）

[欠席委員] 三宅 正恵委員、杉田 眞紀委員（2 名）

[事務局] （企画課）澤田課長、牧野課長補佐、坂本主幹、加藤主事

(5) 審議内容

以下のとおり（要旨）

(6) 傍聴者 1 名

1 開会（午後 2 時）

澤田課長：第 6 回合志市総合政策審議会を開会します。今回の会議が皆さんの任期内最後の会議です。本来ならば荒木市長が挨拶しなければならないのですが、別の会議で欠席です。また、藤井副市長、濱田政策部長も同様に欠席です。市長からは、「皆さん 2 年間本当にお世話になりました」と伝言を預かりました。

それでは、早速ですが、出口会長より挨拶をお願いします。

出口 増穂会長：こんにちは。今日はマスクをつけて喋らせていただきます。実は総合政策審議会が近づくにつれ、緊張から毎回体調が悪くなります。澤田課長から今日で最後という言葉聞き、少し元気が出てきました。

今日は3.11です。目を閉じると、今でも思い出します。私は当時現役の市職員でしたが、仕事どころではなく、ずっとテレビで状況を見守っていました。今日のテレビでも特集がいろいろあります。遠くからではありますが、犠牲者に対してご冥福をお祈りしましょう。

さて、今日の会議のメインは、議題2と議題3です。会議が円滑に進むようご協力をお願いします。

澤田課長：ここで、本日欠席の委員のお知らせをしておきます。三宅 正恵委員、杉田 眞紀委員この2名の方からは欠席の連絡をいただいています。

また、本日は3.11です。地震発生時刻に1分間の黙祷を行いますので、ご協力をお願いします。

では早速議題に入りたいと思います。議題の進行は会長をお願いします。

出口 増穂会長：それでは早速本日の議題に入ります。まず議題1「ふるさと創生基金活用事業に係る助成申請に伴う諮問」について事務局から説明をお願いします。

※議題1「ふるさと創生基金活用事業に係る助成申請に伴う諮問」について、加藤主事から資料説明・・・「資料1」

緒方 量委員：極端に言うと特定の企業に公費を使うのは不公平ではないか。また、視察を行った後のフィードバックが必要だと思う。経費は支出済でしょうから、もう言ってもしょうがないが、予算の範囲内であればいくらかでも補助金を出すのか。公費が伴うのであれば特定の人だけが勉強してくるのは意味がない。

東 隆幸委員：私も緒方委員と同じで、研修後のフィードバックが必要だと思う。

加藤主事：まず、経費はまだ支出しておりません。この総合政策審議会でお伺いしてからの処理になります。また、補助金交付数ですが、同一人物の申請は5年に1度しか受け付けないが、いろんな方から申請があり、研修内容が補助対象として適切ならば何件でも交付します。

研修後のフィードバックという点について、この補助金は結果までは求めていま

せん。ただ、1年後、2年後にどうなりましたかと聞くぐらいはできなくはないです。

牧野課長補佐：結果が1年で出るものもあれば、10年かかるものがあると思うので、結果をリサーチするというのは非常に難しいが、できるだけ皆さんにお伝えできるようにします。

東 隆幸委員：オオヤブデイリーファームの商品は合志ブランドと説明があったが、それはどういうことでしょうか。

牧野 課長補佐：合志市ブランド推進協議会というものがあり、そこで認められたものが合志ブランドとなります。合志市には名物が無いとよく言われます。まずはブランドという名を与えることで、益々頑張ってもらおうというものです。

田代 宏男委員：話は戻るが、補助金をもらった人たちの成果発表会のようなものやっってはどうか。結果が出ないこと、悪い結果がでてしまうこともあると思うが、頑張っている市民を皆で暖かく見守るべきだと思う。

緒方 量委員：合志ブランドとあったが、販路の確保はどうお考えか。市のバックアップが無ければ厳しいのではないか。

澤田 課長：もちろん事業が成功し、商品が売れることで、合志市のアピールになるし、企業が大きくなれば市としても嬉しいが、これは市が行っている事業ではないので、そこまでは考えていない。

この補助金は頑張っている市民のあくまでも応援というものであって、今回は産業の振興にあたるということで補助金を出したいと考えています。

牧野 課長補佐：商品がブランド化すれば、クラッシーノとタイアップもできる。現在商工振興課でいろいろ考えています。

矢野 辰善委員：池田さんの研修について、9月4日からの視察のために3日に前泊しているようだが、必要だったのか。また、ホテル料金が3泊で全て違うようだが、どうなっているのか詳細を教えて欲しい。3日のホテル料金だけ高いようなので気になった。

加藤 主事：前泊が必要だったかについてですが、4日の朝から視察を行ったという話

で聞いている。本当に必要だったのか、もう一度確認し、事務局で判断します。

また、自己負担経費については全て領収書等で確認しましたが、3日に宿泊したホテルだけ別のホテルだったようです。

田代 宏男委員：提案ですが、領収書と合致するかという確認方法もいいが、東京なら宿泊費はいくら、大阪なら航空機代はいくら、という方法のほうが分かりやすいのではないか。

そうすればできるだけお金を浮かそうと安いホテルに泊まるし無駄が無いように思う。

加藤 主事：各種大会等の補助金はそのようになっているが、研修等の補助金に関しては、現在規則で「一泊 10,900 円を超えないこと」とあります。今回は超えていないので補助対象としました。

出口 増穂会長：その他ご意見ないようですので、議題1は終わります。続いて議題2に移ります。事務局より説明をお願い致します。

※議題2「施策評価における平成28年度取り組み方針について」坂本主幹より資料説明・・・「資料2・3・4」

東 隆幸委員：水環境の保全の部分で、上下水道に関して民間委託するという事を聞いたのですが、そういう話はあるのでしょうか。

澤田 課長：上下水道の窓口的業務に関しては、お客様センターを設置しており、これは民間に委託し運営しているものです。工事や水質管理などその他の業務は市が直接行っています。

出口 増穂会長：他にご意見なければ議題2は終わります。続いて議題3に移ります。事務局より説明をお願いします。

※議題3「第3期「合志市行政改革大綱」及び「合志市集中改革プラン」(案)について」坂本主幹より資料の説明・・・「資料5・6・7」

東 隆幸委員：大綱の中の「効率的で効果的な財政運営」の中で、各種使用料、手数料の見直しを必要に応じて行うと謳っているが、これは消費税が上がることを見こしての話なのか。

坂本 主幹：そのとおりです。具体的には平成 28 年度中に検討を行うということです。

緒方 量委員：市税等の徴収率の向上に努めるとあるが、現在未納はどれくらいあるのか。奨学金や給食費の未納もあると思う。徴収を厳格に行えないのか。今後も財政が厳しくなるなかで、規制改革による企業進出で税収を増やすこと、公共事業の削減が必要である。

坂本 主幹：資料 2 の最後のページに平成 26 年度税収納率の実績値 99.04%とあります。すなわち未納は 0.96%です。

牧野 課長補佐：税を払えない方については、物品の差し押さえで徴収しています。また、差し押さえた物品の公売会を開催しています。市単独で開催すると物品が少ないので、菊池地域合同で開催しています。

緒方 量委員：公売ではどれくらいの品数が出品されるのか。

牧野 課長補佐：数を覚えてはいませんが、「菊池 公売」などで検索するとすぐに出てきますのでご覧になられてください。

緒方 量委員：財政改革は無駄を省くことが重要だと思う。体外的な補助金の削減、公共工事の削減などどうなっているのか聞きたい。

澤田 課長：前回の集中改革プランで補助金の削減を目標に掲げ、かなり削減を行いましたので、今回のものには載せていません。また、公共工事も今はかなり減っています。

緒方 量委員：人事評価システムを導入したとあるが、これはどのようなものか。ペーパーテストのようなものがあるのか。

澤田 課長：普段の仕事の取り組み方など、項目ごとに 5 段階評価があり、一般課員については、まず課長が評価し、次に部長が評価するという 2 段階で評価する形になっています。あまりにも評価が低いと、昇給に影響があります。ペーパーテストについては、課長昇任試験で面接と論文試験があります。

出口 増穂会長：私からも 1 つ質問です。資料 6 の 3 ページで、「施設の長寿命化、統廃

合を行う」とあるが、どういう施設の統廃合があるのか予定、構想があれば伺いたい。

坂本 主幹：現在少し話に上がっているのが、歴史資料館です。合志はヴィーブルの3階、西合志は図書館の裏にあります。何に利用するかで、統合か撤去かわ変わってくると思います。

もう1つが、庁舎増築です。合志庁舎を増築し、西合志庁舎の機能を持ってくる予定です。西合志庁舎については、支所的な機能と健康づくりの拠点としての機能は残す予定です。

緒方 量委員：建物の維持管理費はコストがかかると思う。西合志庁舎をそのまま残す必要があるのか。いっそのこと完全に統合してはどうか。

牧野 課長補佐：市の財政状況をみて長期的な考えで計画しています。将来的には庁舎を完全統合するべきだとは思いますが。庁舎が出来てから、合志庁舎が約25年、西合志庁舎は30年ちょっと経っているが、壊すのにもお金がかかるし、今壊すのはもったいないという判断で、とりあえずプレハブで機能を集約するという考えです。

東 隆幸委員：西合志庁舎をとりあえず残して、徐々にというの分かるが、庁舎の維持管理費の面を考えると、私も一気に統合したほうがよい気がする。

牧野 課長補佐：財政が厳しく、お金が足りないので、合併特例債を使うしかない中で、特例債の期限があと5年という部分の勘案でもあります。様々なパターンでシミュレーションを重ね、現在の案が一番よいというところで計画しています。

出口 増穂会長：他にご意見ないようですので、次に議題4に移ります。

※議題4「平成28年度スケジュール(案)について」坂本主幹より資料の説明・・・「資料8」

出口 増穂会長：引き続き委員をされる方もいらっしゃいますが、今回の会議を最後に任期終了の委員が多いので、新しい体制になってからもう一度説明をお願いします。議題を終了します。最後に澤田課長から一言お願いします。

澤田 課長：2年間皆様には本当にお世話になりました。必死に市の未来のことを考えていただき、時には耳が痛い意見も頂きましたが、それも市のための意見だと感謝

しております。委員を継続される方も任期を終える方も引き続き市にご尽力頂けたら嬉しいです。

以上をもちまして第6回総合政策審議会を閉会致します。皆さんお疲れ様でした。